

折に触れ 四字熟語

NO. 71 【花朝月夕】 かちょう げっせき

< 意味 > 春秋のさかりの気候のよい時のこと。陰暦二月中旬と八月中旬の春秋のさかりの時節。また、春分の季節の楽しいひとときをいう。花の咲く春の朝と名月の照る秋の夕べ、また、それを楽しみめでの意。のちに陰暦二月十五日を花朝、八月十五日を月夕というようになった。

出典：「旧唐書」羅威伝

一言：花シリーズ その1

今年の桜の開花は例年以上に早いようで全国各地の満開を伝えています。

類義の四字熟語に「花晨月夕（かしんげっせき）」、「花朝月夜（かちょうげつや）」があります。

参照文献：岩波書店「四字熟語辞典」